

# 第1回 九州・沖縄ブロック 相談支援情報交換会

## 佐賀県の取組報告

### 佐賀県実行委員

佐賀大学医学部附属病院	石丸	浩美
嬉野医療センター	糸山	尚美
佐賀県医療センター	大石	美穂

---

佐賀県

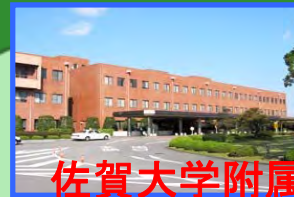
佐賀県内は4拠点病院です

唐津赤十字病院



地域医療支援病院

佐賀大学附属病院



佐賀県医療センター好生館



嬉野医療センター



福岡県

熊本県

松浦郡

玄海

唐津市

伊万里市

多久市

小城市

西松浦郡  
有田町

武雄市

大町町 江北町

白石町  
杵島郡

長門

野市

鹿島市

太良町  
藤津郡

三養基郡

基山町

鳥栖市

神崎市

神埼郡  
吉野ヶ里町

上峰町

みやき町

## 佐賀県の相談支援センター関連の現状

相談支援センター	佐賀大学 医学部附 属病院 (人)	嬉野医療セ ンター(人)	佐賀県医療 センター好生 館(人)	唐津赤十字病 院(人)	合計(人)
相談員数	6	3	5	4	18
基礎研修(3) 修了者	3	3	2	1	9
指導者研修 修了者	1	1	1		3
支援病院のが ん相談員数	63				
がん専門病院	なし				

# 情報提供・相談支援部会の位置づけ

佐賀県がん診療連携拠点病院



連絡協議会

事務局

臨床試験

がん登録

臨床  
検査

相談  
支援

緩和

## 平成24・25年度 佐賀県がん診療連携協議会での相談支援部会の問題点と 課題

1. 国立がん研究センターで実施された相談支援部会参加の報告が現時点ではない(H25)
2. 佐賀県がん診療連携拠点病院連絡会(H26.2/14開催予定)に相談支援の実情が伝わっているかの確認の必要がある
3. 第2回九州・沖縄地域相談支援フォーラム実施の結果が支援部会を通じて拠点の中枢に十分に伝える必要がある

\* 一堂に会して情報共有が望ましいが、現実、キャパオーバー状態での集合調整は極めて困難である。



\* ツールの活用でタイムリーな情報共有ができる工夫をする  
グループウェアの活用を推進する

# H24年度がん相談地域連携研修会実施

実施日

- H25.3/17(日)9:30~16:30

会場

- 旧地方独立行政法人 佐賀県立病院好生館

対象者

- がん相談実務者限定

スタッフ

- コア4名+実行委委員18名(当日急な欠席2名)

ねらい

- 地域で相談員の継続教育に携わる人材の養成を目的とした研修
- \*次年度実施をかんがみ、講師招聘等を最大限人数で承認をとることを目指し、規模縮小や開催不可とならないように取り組む

参加者

- 75名(募集人数70名)

## アンケート結果を踏まえた 受講者からの高評価点



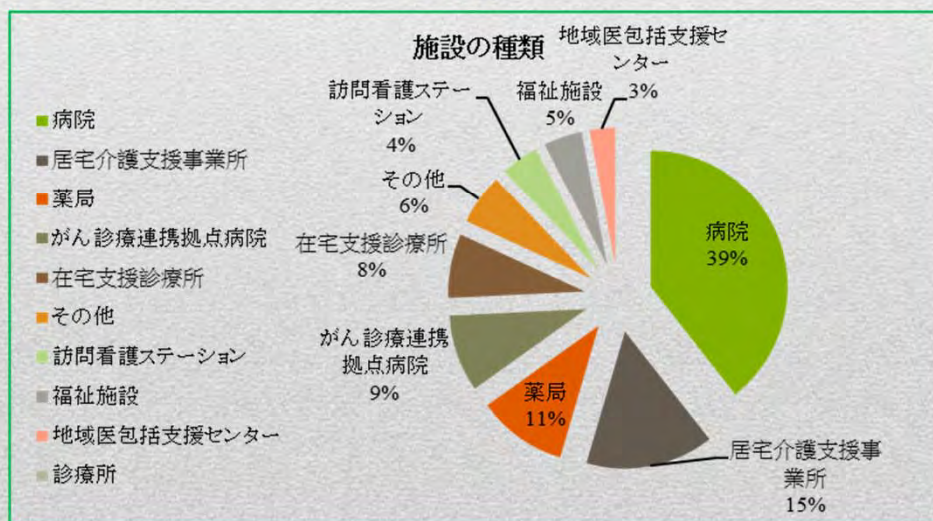
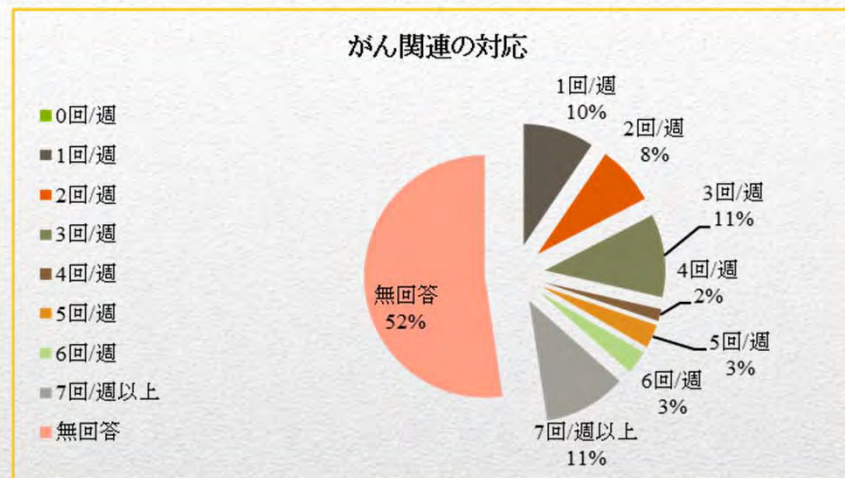
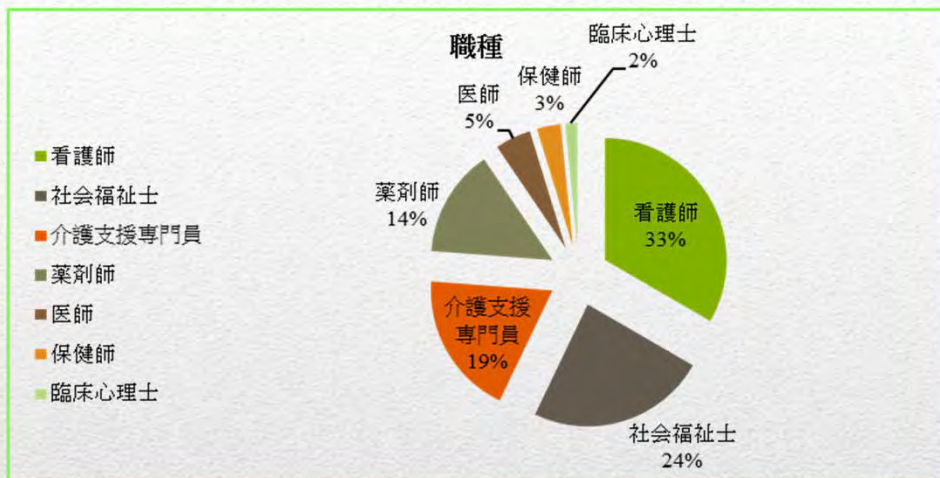
講師 高山先生  
ファシリテーターのみなさま

高山先生のご講義で“なるほど・納得”の声が医師等から☆☆  
ファシリテーターの皆さまの熱意伝わる！！



# 研修後のアンケート結果

## ～詳細は紙資料の末尾に添付しています～





# H25年度相談支援センター一連絡会・研修会 実施

実施日

- H25.12/4(水) 15:30～16:50

会場

- 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館
- 多目的ホールAB

研修会

- 相談支援センター/拠点病院連携医療機関

がん患者の就労  
支援の現状と取組

- コア4名+実行委委員18名(当日急な欠席2名)

連絡会協議内容

- 各相談支援センターの現状報告
- 第二回がん相談地域連携研修会の企画立案

参加者

- 名

# H25年度がん相談地域連携研修会計画案

実施日	<ul style="list-style-type: none"><li>• H26.3/15(土)9:30~16:30</li></ul>
会場	<ul style="list-style-type: none"><li>• 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館</li><li>• 多目的ホールABC</li></ul>
テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「がん患者・家族の就労支援を考える」</li></ul>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"><li>• コア4名+拠点病院実行委委員4名</li><li>+健康増進課1名</li></ul>
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>• 相談支援センター/がん相談関連実務者</li></ul>
参加者募集	<ul style="list-style-type: none"><li>• 50名</li></ul>
実行委員会 開催計画	<ul style="list-style-type: none"><li>• H26.2/5(水)15:00~17:15</li><li>• H26.3/14(金)15:00~18:30</li></ul>

## 佐賀県のH26年度に向けての 相談支援センターの課題

H26年度 佐賀県がん診療連携拠点病院  
連絡協議会専門部会



部会長への本フォーラムの報告と今後の  
課題についてプレゼンを行い、相談支援  
センターの統括を願う

⇒ H26. 2/10 15:00にアポイント

## 佐賀県の相談支援センターの課題

数少ない拠点病院の相談対応で活動範囲に限界がある



拠点病院の数少ない相談員数を  
多職種のネットワークでカバーする

4 拠点病院が団結して現状打破する！！

# 新しい取組 ～佐賀県医療センター好生館～ H25.5月から連携



佐賀県立図書館分室の司書とがん相談員が相互支援している。



がん情報検索のためのPCを相談支援センターが設置している。

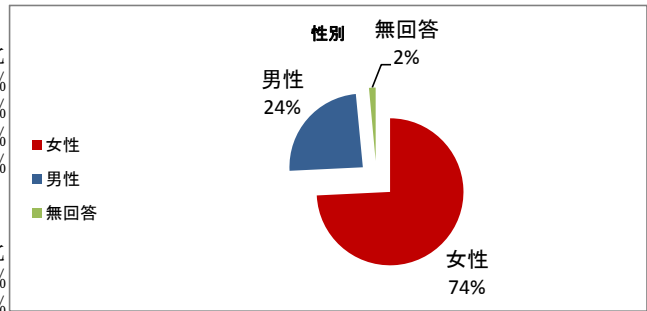


地域医療支援病院 +

# 平成24年度 がん相談地域連携研修会アンケート 集計結果

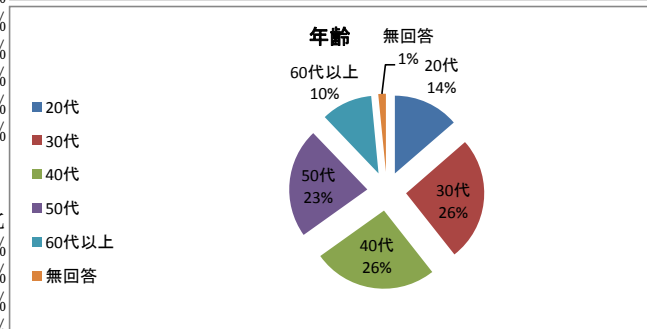
## A-1 あなたの性別は

性別	回答数	構成比
(1) 女性	49	74.2%
(2) 男性	16	24.2%
無回答	1	1.5%
計	66	100.0%



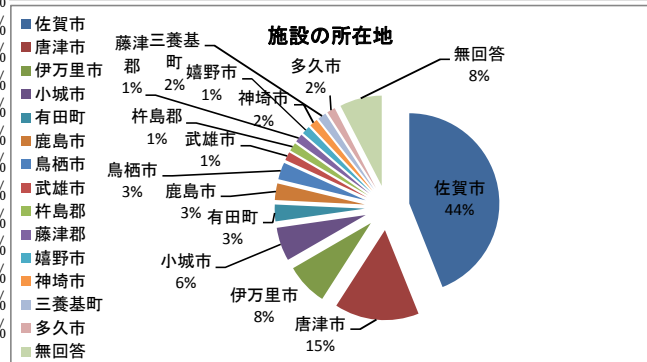
## A-2 あなたの年齢は

年齢	回答数	構成比
(1) 20代	9	13.6%
(2) 30代	17	25.8%
(3) 40代	17	25.8%
(4) 50代	15	22.7%
(5) 60代以上	7	10.6%
無回答	1	1.5%
計	66	100.0%



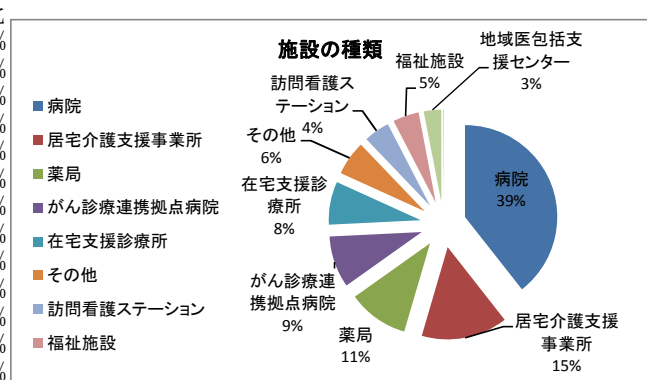
## B-1 勤務施設の所在地は

勤務施設の所在地	回答数	構成比
(1) 佐賀市	29	43.9%
(2) 唐津市	10	15.2%
(3) 伊万里市	5	7.6%
(4) 小城市	4	6.1%
(5) 有田町	2	3.0%
(6) 鹿島市	2	3.0%
(7) 鳥栖市	2	3.0%
(8) 武雄市	1	1.5%
(9) 杵島郡	1	1.5%
(10) 藤津郡	1	1.5%
(11) 嬉野市	1	1.5%
(12) 神埼市	1	1.5%
(13) 三養基町	1	1.5%
(14) 多久市	1	1.5%
無回答	5	7.6%
計	66	100.0%



## B-2 勤務施設の業種は

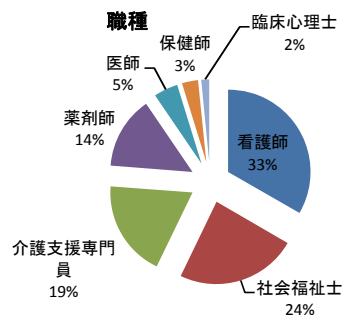
勤務施設の業種	回答数	構成比
(1) 病院	26	39.4%
(2) 居宅介護支援事業所	10	15.2%
(3) 薬局	7	10.6%
(4) がん診療連携拠点病院	6	9.1%
(5) 在宅支援診療所	5	7.6%
(6) その他	4	6.1%
(7) 訪問看護ステーション	3	4.5%
(8) 福祉施設	3	4.5%
(9) 地域医包括支援センター	2	3.0%
(10) 診療所	0	0.0%
(11) クリニック	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	66	100.0%



# 平成24年度 がん相談地域連携研修会アンケート 集計結果

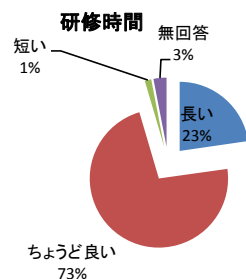
## C-1 あなたの職種は

職種	回答数	構成比
(1) 看護師	21	31.8%
(2) 社会福祉士	15	22.7%
(3) 介護支援専門員	12	18.2%
(4) 薬剤師	9	13.6%
(5) 医師	3	4.5%
(6) 保健師	2	3.0%
(7) 臨床心理士	1	1.5%
(8) 歯科医師	0	0.0%
(9) その他	0	0.0%
無回答	3	4.5%
計	66	100.0%



## D-1 本日の研修時間は

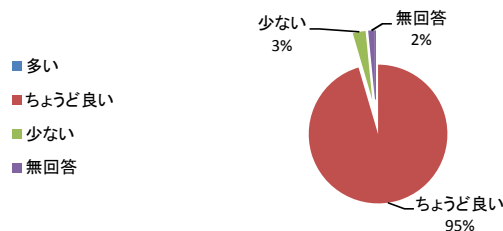
研修時間	回答数	構成比
(1) 長い	15	22.7%
(2) ちょうど良い	48	72.7%
(3) 短い	1	1.5%
無回答	2	3.0%
計	66	100.0%



## D-2 グループワークの人数は

グループワークの人数	回答数	構成比
(1) 多い	0	0.0%
(2) ちょうど良い	63	95.5%
(3) 少ない	2	3.0%
無回答	1	1.5%
計	66	100.0%

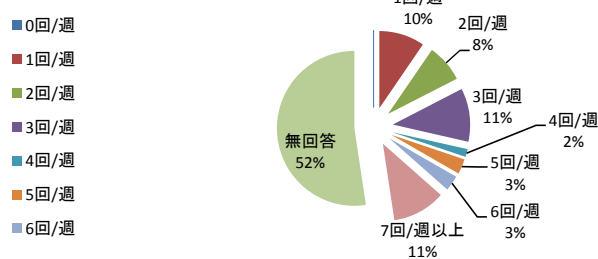
グループワークの人数



## D-3 がん関連の対応は(回/週)

がん関連の対応	回答数	構成比
(1) 0回/週	0	0.0%
(2) 1回/週	6	9.5%
(3) 2回/週	5	7.9%
(4) 3回/週	7	11.1%
(5) 4回/週	1	1.6%
(6) 5回/週	2	3.2%
(7) 6回/週	2	3.2%
(8) 7回/週以上	7	11.1%
無回答	33	52.4%
計	63	100.0%

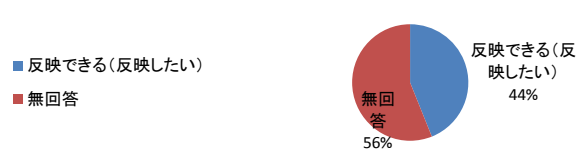
がん関連の対応



## D-4 本研修は日常業務に反映できるか

今後にかけるか	回答数	構成比
(1) 反映できる(反映したい)	29	43.9%
無回答	37	56.1%
計	66	100.0%

今後にかけるか



※アンケート回収率・・・88%



## 平成 24 年度 がん相談地域連携研修会アンケート結果

☆ 今後の研修開催についてご意見をお書きください。

(今後の開催)

- このような研修を継続的に行っていただきたいと思っています。
- 他職種の参加により、より充実したディスカッションが出来たように感じる。今後の多くの職種が集う研修を希望。
- 実際の事例をとしての研修を希望。
- 個人情報保護と他職種への情報の共有に関しての研修を。
- 心理面接技法の研修をしていただきたい。
- 医師の参加が増えるとうれしい。
- 継続してほしい。また参加したい。
- 私自身は在宅に関わっていないが、外来で来られる患者さんに対してどう接すればいいかなども、今後共有して勉強していけたらと思う。
- 定期的な研修会や、情報提供の場を設けてほしいです。
- 医師の参加がもっとあったらいいと思います。
- 医師の本音のところがもっと知りたい。
- 年に数回開催して頂けると助かる。年に 1 回だと意識の持続が難しいかもしれない。目に見える連携を意識できて有意義だった。

(感想)

- がん相談は、まれにしか無いが内容的には、日常的な業務に役立った。
- 他職種との連携が重要であることを再認識した研修でした。
- 医師の意見や立場からの発言は参考になりました。
- グループワークが参考になります。
- ファシリテーターがいて助かりました。
- 通常、なかなかご意見をうかがうことのできない方々と、情報交換や共有ができてとても有意義でした。
- 他職種とのかかわり、また県内の方々と顔を合わせ、色々な話を聞くことができ勉強になった。
- グループワークを中心にした意見交換は気づきも多く、仕事へとつなげていける。
- 相談業務は通常 MSW やケアマネジャーに依頼することが多いですが、専門職としての意見を相談に活かし、MSW が相談に対応した方からのフィードバックを診療に、より活かしたいと思う。
- 今回は薬局の立場や役割、情報共有不足になりがちなことなどを知った。しかし薬局（薬剤師）がチームの中に入っている利点も分かった。
- 大変有意義な時間でした。ありがとうございます。
- 地域で暮らすがん患者の不安は、自分の受けている医療がどのくらい効果を上げるのか、副作用とどう付き合うか、悪化する症状への不安が大きいのでは・・・ 汲み取る・活かす（相談の）相手出来るスタッフになる努力も現状把握をしっかり行う今後にしたい、ということで他職種と話し合えることを希望する。(通し番号 40)
- 顔の見える、ネットワークが出来たと思う。これから互いに連携を取るのに力強いという実感。
- 今回の研修に参加し、医療機関と地域との連携の重要性、患者さん・ご家族とのかかわり方について、改めて考えさせられました。他職種の方々といろいろお話でき、意見交換ができ非常に勉強になりました。

- 改めて連携の重要性、患者さんを第一に考えた看護を行っていくことの大事さに気づくことが出来た。今後のために重要な研修だと感じる。
- いろんな職種の方の意見が聞け、グループワークでいろいろなことが聞けて大変良かったです。
- 病気を持つ人、悩みのある人に対してのかかわりは誰にでも必要だと思う。大変学びとなった。
- 多職種で討論ができ、いい機会だった。がん支援のみならず、ほかの分野でも活かすことが出来ると思う。
- 地域連携が必要と改めて感じた。
- 初めて知ることが多く、とても刺激を受けたと同時に、今後自身がどうすればというヒントやイメージを持つことができた。
- ワークの状況設定や目的をより明確にし、ファシリテーターはそれをしっかり把握・統一することで、より議論が具体化したかと考えます。